

2024. 10. 31

## 【1次QE予測（24年7-9月期）】

### 前期比年率+0.7%とプラスを予想

～2024年度後半の日本経済は緩やかな回復にとどまる～



経済調査部 エコノミスト

前田 和孝

#### ポイント

- 2024年7-9月期実質GDP成長率は前期比+0.2%（年率換算：+0.7%）とプラスになったと予想
- 内需の両輪である個人消費と設備投資は、いずれもプラスになったと予想する。もっとも、個人消費は自然災害が足枷となったほか、設備投資は機械投資が伸び悩み、プラス幅は小幅にとどまったとみる
- 先行きについては、個人消費や設備投資など内需は堅調に推移するとみるが、外需は低迷が見込まれ、2024年度後半の日本の景気の回復ペースは緩やかなものにとどまると予想

#### 1. 7-9月期実質GDP成長率はプラスを予想

内閣府から11月15日に発表予定の2024年7-9月期実質GDP成長率は前期比+0.2%（年率換算：+0.7%）と、2四半期連続のプラスになったと予想する。

需要項目別に見ると、まず、民間最終消費支出（個人消費）は4-6月期：前期比+0.9%→7-9月期：同+0.2%と、小幅のプラスを予想する。春闘における高い賃上げ率が給与に反映されたことや、自動車販売の持ち直しが下支え要因となったものの、地震や台風などの自然災害が娯楽・宿泊などサービス消費の足枷になったとみる。

住宅投資は、着工件数の持ち直しに足踏みがみられることなどから、4-6月期：前期比+1.7%→7-9月期：同▲0.4%と2四半期ぶりのマイナスを予想する。設備投資は、人手不足対応のデジタル関連投資は堅調に推移したと見込まれるが、機械投資が伸び悩んだとみられ、4-6月期：前期比+0.8%→7-9月期：同+0.1%と、小幅のプラスにとどまったと予想する。政府最終消費支出は、医療費の増加などから、4-6月期：前期比+0.1%→7-9月期：同+0.1%と3四半期連続のプラスを予想する。公的固定資本形成は、前期に国土強靱化関連の防災・減災工事や災害復旧工事が進捗した反動が出ることで、4-6月期：前期比+4.1%→7-9月期：同▲1.0%と、2四半期ぶりのマイナスになったと予想する。

輸出は、4-6月期：前期比+1.5%→7-9月期：同+2.8%と、2四半期連続のプラスを予想する。インバウンド需要は鈍化したものの、半導体関連製品の輸出増などが押し上げに寄与したとみる。輸入は、4-6月期：前期比+1.7%→7-9月期：同+2.4%となり、純輸出の寄与度は+0.1%ポイントのプラスになったと予想する。

#### 2. 2024年度後半の日本経済は緩やかな回復に

先行きについては、賃金上昇のほか、「酷暑乗り切り緊急支援」などの政策の後押しによる物価上昇率の鈍化が個人消費の下支え要因になると予想する。設備投資は、企業収益が堅調なことに加え、シリコン・サイクルの好転に伴う半導体製造装置や、半導体材料の増産のための投資需要が追い風になるとみる。一方、住宅投資は、住宅価格の高止まりと住宅ローン金利の上昇が足枷になると見込む。外需も当面軟調な推移が続くとみる。インバウンド需要は下支え要因となるものの、中国景気が力強さを欠くことなどから財輸出は停滞気味の推移が見込まれ、日本の景気の回復ペースは緩やかなものにとどまると予想する。

## 実質GDP成長率予測

(前期比：%)	23/9	23/12	24/3	24/6	→予測	
					24/9	寄与度
実質GDP	-1.1	0.1	-0.6	0.7	0.2	-
前期比年率	-4.3	0.2	-2.4	2.9	0.7	-
民間最終消費支出	-0.3	-0.3	-0.6	0.9	0.2	0.1
民間住宅投資	-1.2	-1.1	-2.6	1.7	-0.4	-0.0
民間設備投資	-0.2	2.1	-0.5	0.8	0.1	0.0
政府最終消費支出	0.6	-0.1	0.3	0.1	0.1	0.0
公的固定資本形成	-1.9	-1.7	-1.1	4.1	-1.0	-0.0
民間在庫品増加(寄与度)	-0.6	-0.1	0.3	-0.1	-	0.0
純輸出(寄与度)	-0.3	0.2	-0.5	-0.1	-	0.1
財貨・サービスの輸出	0.1	3.0	-4.6	1.5	2.8	0.6
財貨・サービスの輸入	1.3	2.0	-2.5	1.7	2.4	-0.5
内需(寄与度)	-0.8	-0.1	-0.1	0.8	-	0.1
名目GDP	-0.0	0.7	-0.3	1.8	1.0	-
前期比年率	-0.0	2.8	-1.1	7.2	4.3	-
GDPデフレーター(前年同期比)	5.2	3.9	3.4	3.2	2.9	-

(出所) 内閣府公表資料より明治安田総研作成

本レポートに関するご取材やお問い合わせは以下までご連絡ください

明治安田総合研究所 エコノミスト 前田 和孝

電話番号：03-6261-7947

e-mail：ka3-maeda@myri.co.jp

※本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

●発行元● 株式会社 明治安田総合研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-11 TEL03-6261-6411